

宮本武之輔 みやもと たけのすけ 土木工學者、工學博士。明治二十五年愛媛縣生れ。昭和十六年十一月二十四日歿（八九二—一九四二）。第一高等學校を經て、大正六年東京帝國大學工料大學土木學科卒。内務省に入り、利根川、荒川等の改修工事に従事。十二年歐米出張。歸朝後土木局に轉じ、信濃川の復舊工事を擔當した。この間日本工人俱樂部（のち日本技術協會）の創設に参劃、機關誌『工人』の編輯に當る。その後東京帝大教授兼鎮西学院技術部長を務めた。

著書に『鐵筋コンクリート』（昭和九年二月）二十五日岩波書店「岩波全書」）、『技術・社會・人生』（昭和九年四月五日）業雜誌社）、『鋼天板工法』（昭和十年六月二十日）岩波書店「岩波全書」）、『技術者の道』（昭和十四年六月）二十五日科學主義工業社）、『現代技術の課題』（昭和十五年十一月七日）岩波書店）、『戦争と科學』（合著、昭和十六年八月十五日）帝國大學新聞社）、『科學の動員』（昭和十六年七月四日）改造社）、『大陸建設の課題』（昭和十六年十一月十三日）岩波書店）等。

